

2025年度 電線需要見通し概要

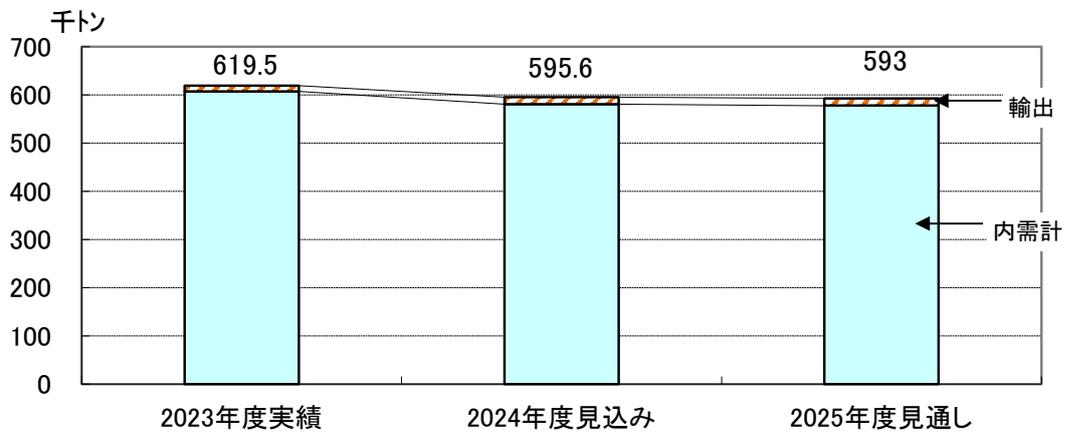
2025年3月

一般社団法人 日本電線工業会
調査統計専門委員会

1. 2025年度需要見通しの前提

実質GDP成長率	+1.1%
民間最終消費支出	+0.9%
民間企業設備投資	+2.0%
民間住宅投資	-0.1%
鉱工業生産指数	+1.9%

2. 2025年度電線需要予測結果



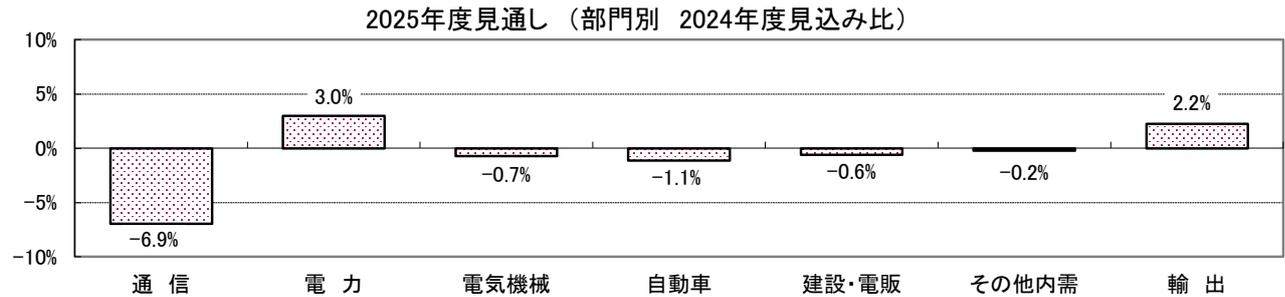
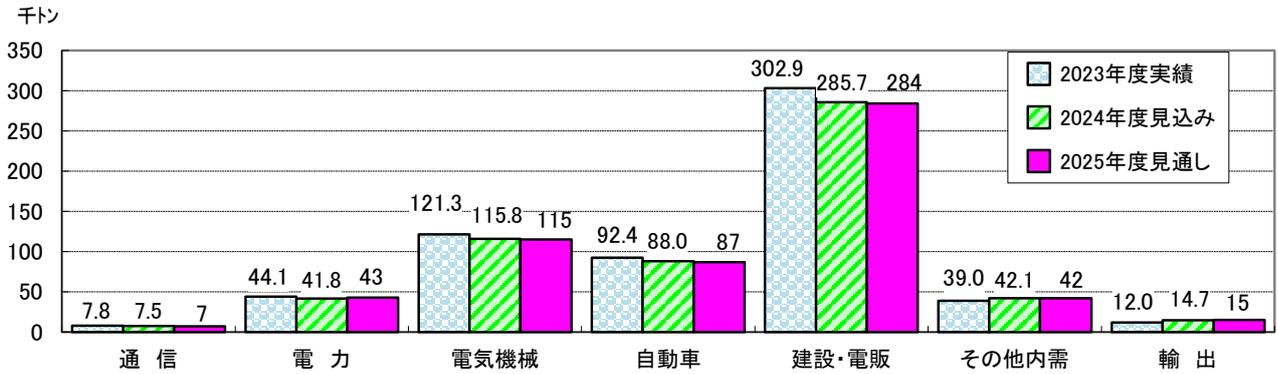
単位:千トン

銅電線	2023年度実績	2024年度見込み	24/23 伸び率	2025年度見通し	25/24 伸び率
内 需	607.5	580.9	-4.4%	578	-0.5%
輸 出	12.0	14.7	22.0%	15	2.2%
合 計	619.5	595.6	-3.9%	593	-0.4%

単位:千トン

アルミ電線	2023年度実績	2024年度見込み	24/23 伸び率	2025年度見通し	25/24 伸び率
合 計	26.6	24.0	-9.9%	25	4.1%

3. 2025年度需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	2024年度は、通信インフラ環境の光化により、メタルケーブル全般的に大きな需要はなく、2023年度比-3.8%と見込む。 2025年度は、通信インフラ環境の光化が継続し、メタルケーブル需要は減少とみて2024年度見込み比-6.9%と予測する。
電力	2024年度は、設備更新、再生可能エネルギー関連の需要は堅調であるが、資材高騰、施工人員不足による工事の延伸により、2023年度比-5.2%と見込む。 2025年度は、施工人員不足による工事制約は懸念されるが、設備更新、再生可能エネルギー関連需要のほか、データセンター、半導体工場への供給需要を見込み、2024年度見込み比+3.0%と予測する。
電気機械	2024年度は、自動車生産台数の減少により電装品部門が減少し、また、FAロボット、医療、DX関連向けが振るわず電子・通信部門も減少、2023年度比-4.5%と見込む。 2025年度は、半導体製造装置市場などで電子・通信部門の需要は見込めるものの、電装品部門は期待薄く、2024年度見込み比-0.7%と予測。
重電	2025年度は、電力会社の設備更新、再生可能エネルギー関連で変圧器の需要は見込めるが、回転機器などは減少とみて、2024年度見込み比-1.7%と予測する。
家電	2025年度は、個人消費は伸び悩むとみて、2024年度見込み比-3.9%と予測する。
電子・通信	2025年度は、電子機器の小型化、無線化は進展するも、引き続き半導体製造装置市場、FAロボット、医療、DX関連需要はあるとみて、2024年度見込み比+1.9%と予測する。
電装品	2025年度は、自動車の生産台数は伸びないとみて、2024年度見込み比-0.8%と予測する。
自動車	2024年度は、認証不正問題に伴う出荷停止、能登半島地震によるサプライチェーンの混乱により自動車生産台数は減少、2023年度比-4.7%と見込む。 2025年度は、認証不正問題による影響はなくなるも、銅需要が期待できるEV車の普及は先行きが見通せず、また、米国の関税引き上げや中国による鉱物輸出規制など不安要素により、2024年度見込み比-1.1%と予測する。
建設・電販	2024年度は、半導体工場や、都市再開発、データセンター、物流倉庫など、大型案件の需要はあるものの、資材高騰、2024年問題の影響による人手不足で工事の延伸が相次ぎ出荷は減少、2023年度比-5.7%と見込む。 2025年度は、引き続き大型案件需要はあるものの、建築費高騰や人手不足により工期の長期化が足枷となり、また、中小案件については遅れや中止傾向が見られることから、2024年度見込み比-0.6%と予測する。
その他内需	2024年度は、民間設備投資が好調に加え、モーター向けを中心とした間接輸出が増加し、2023年度比+8.0%と見込む。 2025年度は、2024年度並みの設備投資需要を見込み、2024年度見込み比-0.2%と予測する。
輸出	2024年度は、伸長する電力需要、脱炭素社会に向けた再生可能エネルギー関連設備、電力安定供給を踏まえた連系線整備等の投資により、2023年度比+22.0%と見込む。 2025年度は、米国のエネルギー・関税政策により不確実性はあるものの、中長期的に伸長が見込まれる電力需要、脱炭素化に向けた再生可能エネルギー関連向けなど、電力の安定供給に向けた投資が継続する見通しであることから電力ケーブルの需要は増加し、2024年度見込み比+2.2%と予測する。

以上

表1

2025年度電線需要見通し

(総括表)

2025年3月

単位:千トン

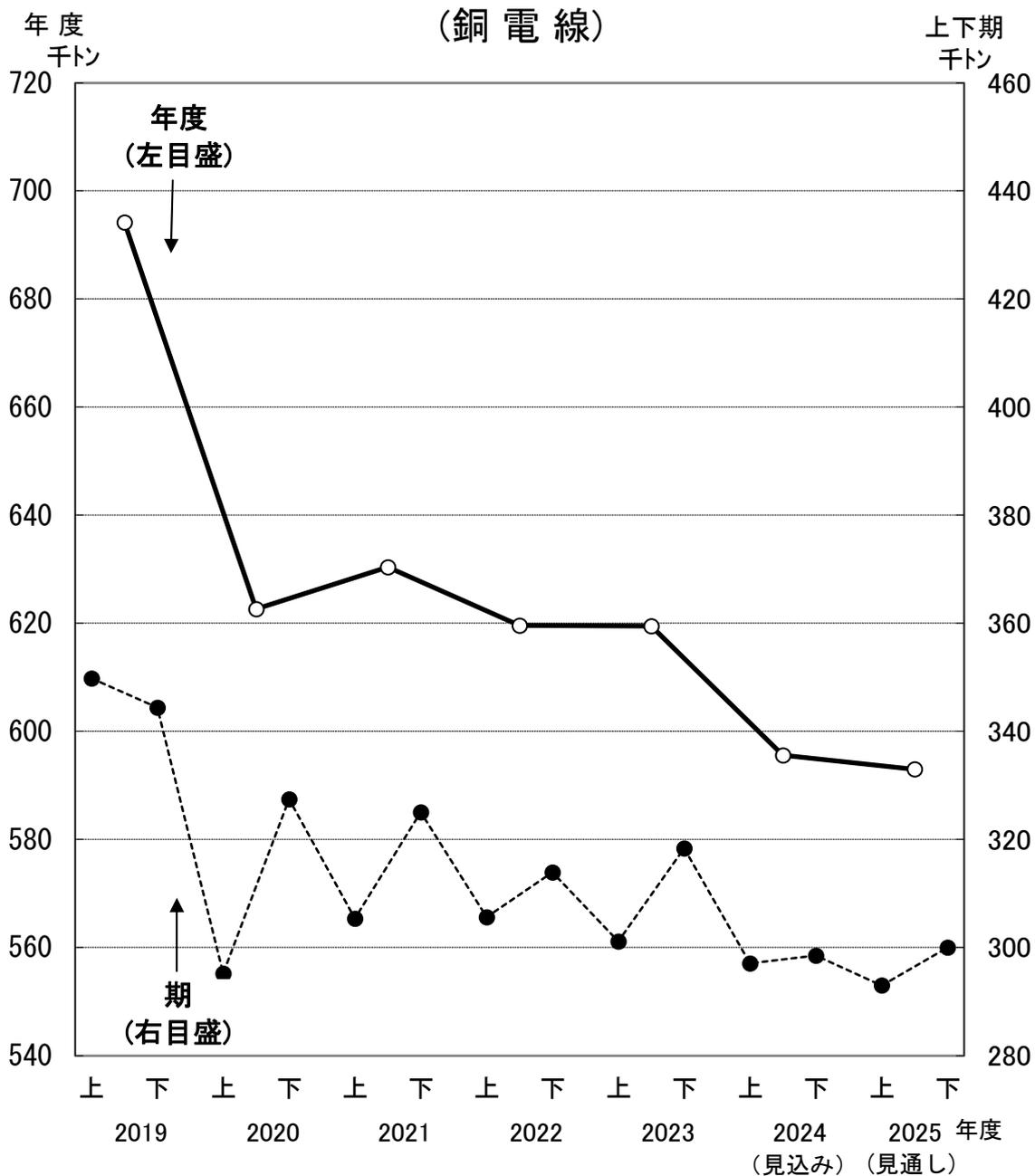
区分		出荷			
		銅電線		アルミ電線	
年度		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
			(%)		(%)
2018	(実績)	697.8	1.6%	29.9	5.0%
2019	(実績)	694.2	-0.5%	31.0	3.6%
2020	(実績)	622.6	-10.3%	31.9	2.8%
2021	(実績)	630.4	1.2%	26.4	-17.0%
2022	(実績)	619.6	-1.7%	22.3	-15.5%
2023	(実績)	619.5	0.0%	26.6	19.2%
2024 実績 見込み	上期	297.1	(-1.4%)	11.8	(-12.2%)
	下期	298.5	(-6.2%)	12.2	(-7.5%)
	計	595.6	-3.9%	24.0	-9.9%
2025 見通し	上期	293	(-1.4%)	12	(1.6%)
	下期	300	(0.5%)	12	(-1.6%)
	計	593	-0.4%	25	4.1%

[KN250317]

- (注) 1. ()内は前年同期比を示す。
 2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

出荷推移表 (銅電線)

2025年3月



2025年度電線需要見通し (主要部門別)

2025年3月
単位:千トン

		出 荷							
年度 期 部門	2023 (実績)	2024(実績見込み)			24/23 (%)	2025(見通し)			25/24 (%)
		上期 (実績)	下期 (見込み)	計		上期	下期	計	
通 信	7.8	3.6	3.9	7.5	-3.8	3	4	7	-6.9
電 力	(17.1)	(8.1)	(9.2)	(17.3)	(1.3)	(9)	(9)	(18)	(3.8)
電気機械	121.3	57.4	58.4	115.8	-4.5	58	57	115	-0.7
重電	17.0	/	/	16.3	-4.4	/	/	16	-1.7
家電	10.0	/	/	9.4	-6.7	/	/	9	-3.9
電子・通信	22.4	/	/	21.6	-3.5	/	/	22	1.9
電装品	52.8	/	/	50.4	-4.6	/	/	50	-0.8
その他	19.0	/	/	18.2	-4.7	/	/	18	-0.9
自 動 車	92.4	43.4	44.6	88.0	-4.7	43	44	87	-1.1
建設・電販	302.9	140.6	145.1	285.7	-5.7	139	145	284	-0.6
その他内需	(7.6)	(3.4)	(2.7)	(6.1)	(-19.5)	(3)	(3)	(6)	(-1.6)
39.0	21.1	21.0	42.1	8.0	21	21	42	-0.2	
内 需 計	(24.7)	(11.5)	(11.9)	(23.4)	(-5.1)	(12)	(12)	(24)	(2.4)
607.5	287.9	293.0	580.9	-4.4	286	292	578	-0.5	
輸 出	(2.0)	(0.3)	(0.3)	(0.6)	(-70.6)	(0)	(0)	(1)	(73.6)
12.0	9.2	5.5	14.7	22.0	7	8	15	2.2	
合 計	(26.6)	(11.8)	(12.2)	(24.0)	(-9.9)	(12)	(12)	(25)	(4.1)
619.5	297.1	298.5	595.6	-3.9	293	300	593	-0.4	

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。

[KN250317]